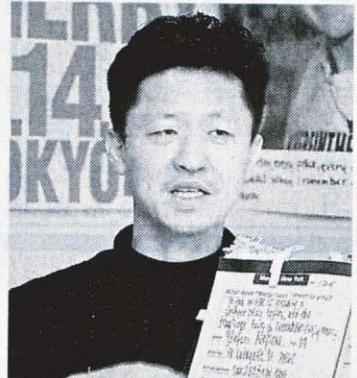


# 北國新聞

2003年(平成15年)2月18日(火曜日) 国際・総合



笑顔のイベント「メリーアイン  
・ニューヨーク」を開いている

みずたに こうじ  
水谷 孝次さん

## きょうの人

リープロジェクト」は、一九九九年に始まった。笑顔とメッセージをさまざまな方法で見せる。今回は五万部の「新聞」にしてニューヨーク、ロンドンでも同時に配った。

本業はアートディレクター。広告業界に札束が乱れ飛んだバブル時代を経験した。忙しく働き、数々の賞を受けながらも、むなしさが募った。

「すべては商品を売ったためのウソ。こんなことはおかしいとずっと思ってました」

「不幸が大きい分だけ、笑顔が美しい。ともに負の遺産を持つ、神戸でやつたときにもそう感じました。撮っている僕にも、見る側にも、勇気や希望をくれる」

「メリーカリスマス」のメリーカ。楽しさ、幸せ、希望といったポジティブな感情をその言葉に託した「メ

その後、米国を旅するバ  
スの中で、無邪気な少女たちにカメラを向けたのがプロジェクトのきっかけになった。笑顔は世界共通のコミュニケーション手段。これこそ最もシンプルで力強い、二十一世紀のアートじゃないかと思うです」

不況だからこそ「やるべきことがはつきり見える」と笑う。五十一歳。名古屋市生まれ。

「不幸が大きい分だけ、笑顔が美しい」